

財務諸表等	該当科目等	記載数値	チェック内容
【支払資金残高】			
資金収支計算書(前年度)	当期末支払資金残高		①
資金収支計算書(当年度)	前期末支払資金残高		②
	当期末支払資金残高		③
貸借対照表	流動資産(合計)		④
	(うち固定資産からの振替)		⑤
	棚卸資産(貯蔵品を除く)		⑥
	徴収不能引当金(絶対値)		⑦
	④-⑤-⑥-⑦		A
	流動負債(合計)		⑧
	(うち固定負債からの振替)		⑨
	引当金(流動負債)		⑩
	⑧-⑨-⑩		B
			①=②(a)
			③=A-B (b)
【繰越活動増減差額】			
事業活動計算書(前年度)	次期繰越活動増減差額		⑪
事業活動計算書(当年度)	前期繰越活動増減差額		⑫
	当期活動増減差額		⑬
	次期繰越活動増減差額		⑭
貸借対照表	うち活動増減差額		⑮
	次期繰越活動増減差額		⑯
			⑪=⑫(c)
			⑬=⑮(d)
			⑭=⑯(e)
【資産・負債】(拠点区分においては、⑰～⑳のチェックは不要です。)			
貸借対照表	資産の部合計		⑰
	負債の部合計		⑱
	純資産の部合計		⑲
財産目録	資産合計		⑳
	負債合計		㉑
	差引純資産		㉒
			⑰=⑳(f)
			⑱=㉑(g)
			⑲=㉒(h)
【現金預金】			
貸借対照表	現金預金		㉓
現金出納簿	期末残高(帳簿数 冊)		㉔
残高証明書	記載金額(口座数 口座)		㉕
			㉓=㉔+㉕ とならない理由 →下記

※上記表中、a～h がすべて成立すること。

→㉓=㉔+㉕とならない理由()